

IND-4030-2007

フードマシン ハイドロ

食品機械用油圧作動油

フードマシン ハイドロは、F D A (米国食品医薬局) で承認された原材料のみを使用し、米国N S F (National Sanitation Foundation) H 1に適合する食品機械用・高性能油圧作動油です。

世の中の「食の安全」に対する関心が高まり、食品製造プロセスへの厳しい目が向けられています。

フードマシン ハイドロは食品業界の「安全」および「品質」に対する期待に応え、製造工程でのリスクを最小限に抑えることが可能です。フードマシン ハイドロは、化学合成油を基油に最適な添加剤を配合した耐摩耗性油圧作動油ですので、粘度指数が高く、流動点が低いのが特長の一つです。このため冷凍工場や冷凍倉庫等の配管が細く長い油圧装置においても、潤滑油が配管内を流動する際の粘性抵抗が小さくなり、スムーズな運転が可能となります。また、低温時での油圧ポンプの暖気運転が不要となり、省電力・省エネルギーに貢献できます。

●特長

1. 米国NSF H1登録品

F D A が承認している原材料のみで製造された油圧作動油で、米国N S F H 1登録品です。したがってフードマシン ハイドロは食品製造・加工業者にとって、公衆衛生上のリスクを低減させる潤滑油になります。

2. HACCP*に適合します

食品業界における原材料から加工・包装・出荷に至るすべての段階で発生する可能性のある食品衛生上の問題点に際し、フードマシン ハイドロは、その発生を防止または減少させる管理方式に適合します。

*HACCP: Hazard Analysis Critical Control Point
(食品の衛生管理システムの国際基準)

3. 酸化安定性・熱安定性が優れている

フードマシン ハイドロは、化学合成系基油と無灰系添加剤の組合せにより、一般の 鉱油系油圧作動油に比べ優れた酸化安定性、熱安定性を発揮します。熱負荷の高い油圧装置で長時間使用しても、スラッジの生成が少なく、油圧装置のバルブやフィルタの閉塞などが軽減できます。

4. 低温性能が優れている

フードマシン ハイドロは、低温流動性に優れるため、寒冷地における油圧装置の始動がスムーズです。

5. 粘度特性に優れている

フードマシン ハイドロは粘度指数が高く、低温時での油圧ポンプの暖機運転が不要となり、省エネにつながります。

●種類

フードマシン ハイドロは3種類の粘度番手をそろえていますので、使用条件に適した粘度のものを選択できます。

●用途

食品関連の製造装置、加工装置、運搬装置など、低圧から高圧まで各種油圧機械すべてに使用できます。

●荷姿

200lドラム、20lペール

●フードマシン ハイドロの代表性状

種 類 (粘度グレード)	32	46	68
色 (ASTM)	L0.5	L0.5	L0.5
密 度 (15°C)	0.828	0.835	0.838
動 粘 度 (40°C) mm ² /s	31.0	44.0	65.3
(100°C) mm ² /s	5.94	7.61	10.2
粘度指数	140	141	142
引 火 点 (COC) °C	250	268	270
酸 価 mgKOH/g	0.09	0.09	0.09
流 動 点 °C	-45.0	-42.5	-42.5
さび止め性 (蒸留水, 60°C, 24h)	さびなし	さびなし	さびなし
銅板腐食 (100°C, 3h)	1	1	1
消防法危険物分類	第4石油類		

※代表性状値は、商品の改定等により予告せずに変更場合があります。(2017年5月)



取扱上の注意

▼取扱いについては下記の注意事項に従って行って下さい。

成分：	潤滑油基油、潤滑油添加剤
絵表示：	なし
注意喚起語：	なし
危険有害性情報：	なし
注意書き： 安全対策	<ul style="list-style-type: none"> • 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。 • 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。 • 眼に入れないこと。飲み込まないこと。 • 取り扱い後はよく手を洗うこと。 • この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
応急措置	<ul style="list-style-type: none"> • 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。 • 飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。 • 眼に入った場合：多量の流水で洗眼し、直ちに医師に連絡すること。 • 皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
保管	<ul style="list-style-type: none"> • 直射日光を避け、涼しく換気の良い場所に保管すること。 • 一度栓を開けた容器は必ず密栓しておくこと。
廃棄	<ul style="list-style-type: none"> • 内容物/容器を国際/国/都道府県/市町村の規則にしたがって廃棄すること。 • 不明な場合は購入先にご相談の上処理すること。